

製品情報

BIOZ Moonstone ムーンストーン

ムーンストーンは、作物全般が対象の葉面散布肥料で、17種類の必須アミノ酸に加え、9種類の栄養素を配合しています。アミノ酸及び肥料栄養素の働きにより、非生物的ストレス（高温、低温、風水害、ひょうによる葉の損傷、農薬による葉焼け）からの回復を早めます。水稻・小麦・トウモロコシ・馬鈴薯など多岐にわたる作物の高収量を実現します。

利点

- ・作物の新陳代謝を促進
- ・作物体内の栄養吸収と転流速度を向上
- ・夏場の高温からの回復促進
- ・農薬による葉の葉害低減
- ・花や果実の着実性を向上

製品特性

- ・物理的性質：褐色非粘稠分離液
- ・用途：葉面散布
- ・製品荷姿：5L/本
- ・原産国：ブラジル
- ・含有成分：窒素、リン酸、カリウム、硫黄、ホウ素、銅、マンガン、モリブデン、亜鉛、有機体炭素（保証成分：6-1-1(+0.1MnO-0.1B₂O₃)）
- ・使用期限：製造年月日より3年
- ・製品コード：500960

施用量

栽培品目	施用量 (ml/10a)	推奨施用時期
水稻・トウモロコシ・小麦	100 - 200	栄養生長期、幼穂形成期～出穂初期（計2回）
馬鈴薯	100	栄養生長期、塊茎形成期、塊茎肥大期（計3回）
玉ねぎ	100 - 200	移植後30日目、結球後（計2回）
トマト及びその他野菜類	100 - 200	移植後20日目～、15日間隔で繰り返し施用（計3～5回散布）
葉害発生時及び非生物ストレス後	100 - 200	ストレス発生直後～3日後に散布

製品レンジ

BIOZ（バイオスティミュラント）			
製品名	用途	栽培品目	製品コード
BIOZ Topaz	種子処理	ダイズ・豆類	500965
BIOZ Nephrite	葉面散布	ダイズ・豆類	500961
BIOZ Onyx Annual	葉面散布	水稻・小麦・ダイズ	500962
BIOZ Onyx Permanent	葉面散布	馬鈴薯・果樹類	500966
BIOZ Moonstone	葉面散布	作物全般	500960
BIOZ Sunstone	種子処理	水稻・小麦・トウモロコシ	500964



BIOZ Moonstone

ムーンストーン

葉面散布方法

- ① ムーンストーンの推奨施用量は、希釈倍率基準でなく単位面積あたりの投下量（100～200ml/10a）が基準となります。
- ② ムーンストーン希釈液単独または、農薬資材との混合希釈液をブームスプレーヤーにて葉面散布します（タンク投入前にボトルをよく振ってからご使用ください）。
- ③ ムーンストーン希釈液単独の葉面散布の場合、少量散布（6L~/10a）が可能です。展着剤の使用を推奨します。
- ④ 農薬資材との混合希釈液を葉面散布する場合、ムーンストーンの希釈倍率は、混用する農薬資材に合わせてみます。ムーンストーンと農薬等を初めてタンク内で混合する前に、ボトルテスト*を行い、適合性の確認を行ってください。

*詳しくは下記参照。石灰硫黄合剤、銅剤との混用を避けてください。

殺虫剤・殺菌剤とのボトルテスト

- ① ムーンストーン製品液体少量をボトルに入れ、同倍率もしくは低倍率で混用する農薬との適合性を確認します。
- ② ボトル内に容積60%の水を入れてください。
- ③ ボトル内に展着剤を規定量入れてください。
- ④ ボトルを振ってください。
- ⑤ 薬剤1（薬剤1の希釈倍率）を入れて、再度ボトルを振ってください。
- ⑥ 薬剤2（薬剤2の希釈倍率）を入れて、再度ボトルを振ってください。
- ⑦ ボトル内の溶液を確認。溶液中に物理的・化学的な反応（沈殿・凝集）がないことを確認します。

ボトルテスト例） 実際の使用倍率よりも低い倍率での試験

- ① 2.0Lポリ瓶にムーンストーン製品液20.0ml（希釈倍率:100倍）を加える。
- ② 容積60%の水（1.2L）を加える。
- ③ 規定量の展着剤を加える。
- ④ ボトルを振る。
- ⑤ 殺虫剤A（希釈倍率:1000倍）を2.0ml加え、ボトルを振る。
- ⑥ 殺菌剤B（希釈倍率:1000倍）を2.0ml加え、ボトルを振る。
- ⑦ ボトル内の溶液を確認する。溶液中に沈殿・凝集が発生していないことを確認。

希釈水量の例

混用資材の例	希釈水量
殺虫剤（カメムシ・ウンカ類, 水稻）	60~150L/10a
殺菌剤（いもち病, 水稻）	60~150L/10a
殺菌剤（いもち病, 水稻）	25L/10a（少量散布）
殺菌剤（赤かび病, 小麦）	60~150L/10a
混用資材なし	6-25L/10a

*希釈倍率は混用する殺虫剤・殺菌剤に合わせてください。

トウモロコシへの施用

